



◆長澤 龍夫 議員

答

当初アクセス道路は村西道路を整備し通行する計画であった

問

※村前道路の整備については。

答

地元住民の要望書のもとに公安委員会と協議し決定する。

問

宇田大通寺前信号から西進する大型車通行禁止の標識の設置は。

答

一般県道の地方幹線道路を経由する誘導計画が国交省、岐阜県等と協議の上、承認を得ている。

問

アクセス道路の誘導標識は。

養老SAスマートIC設置については、地元橋爪区を中心に設置対策協議会を平成24年12月に設置、関連機関と協議しいよいよ開通の運びとなるが、交通事故や防犯率等の増加、また子ども達の登下校が危険にさらされることへの不安がある。

※ここで示す村前道路とは、橋爪地区と養老SAの間の道路すなわち、養老SA北側の道路を指す。

養老SIC周辺の安全策は

町長

開通後の状況を考慮し対応



養老SAスマートIC上り線入口付近

が、地元からの要望で入口の計画変更（象鼻山南口へ）により、村前道路を改良する計画はなくなった。

象鼻山古墳群の駐車場等は

町長

現在では実施できない

答

今年度、観光ボランティアガイドの養成講座を開催し、その育成を図っている。今後は象鼻山古墳群等の文化財の案内にも対応できるようボランティアガイドを育成していきたい。

問

ボランティアガイド開設の考えは。

答

登山道は林道なので倒木処理や豪雨等による林道補修には町で対応するが、抜本的な整備は県と協議する。

問

古墳群への登山道整備は。

答

駐車場を整備しても牧田・室原線の県道を横断することになり危険である。歩道橋整備は財政面において非常に難しい。

問

登山道付近の駐車場整備は。

象鼻山古墳群は、2世紀後半（弥生時代末期）造成され70基の古墳群があり1号古墳は3世紀後半に築造、全国でも最古級の前方後方墳である。被葬者は『三国志』魏志倭人伝にも記述がある邪馬台国と狗奴国に深く関わる人物であるとされ、全国から見学者が訪れ、地元小学校でも学習拠点となっている。

認知症支援対応条例を

町長

他市町の情勢踏まえ今後検討



導入されたタッチパネル「物忘れ相談プログラム」

答

国の公的救済制度への進捗が見られず、情勢に注視したい。

問

認知症の人が第三者を負傷等させた場合に対応する公的救済制度保険の加入見解は。

答

現在取り組んでいる認知症施策を重視し、新年度も予防に特化した教室を開催。条例化は今後検討したい。

問

（仮称）認知症に対する不安のない町づくり条例の制定を提案するが。

介護家族の監督責任が最高裁判所で問われた愛知県大府市の鉄道事故。本人や介護者家族を含めきめ細かな安心策を町も地域社会も講じることは、大きな課題である。